

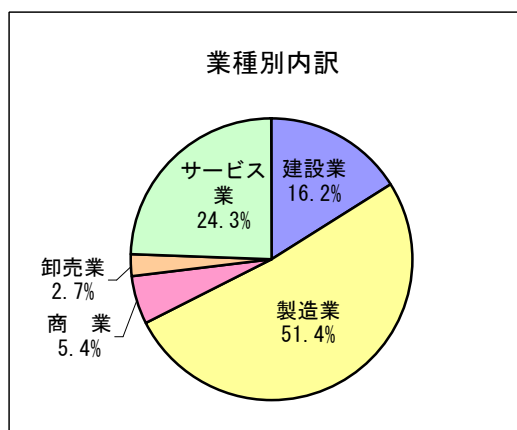
小野商工会議所会員事業所 景気調査（平成23年第3四半期）集計結果

平成23年11月8日

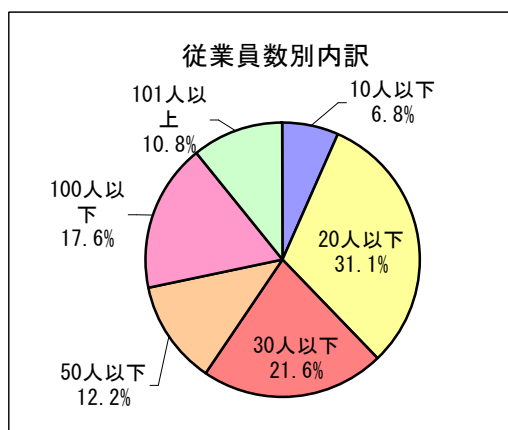
アンケート回答企業数 74社 （アンケート送付数 195社）
 回収率 37.9%

調査対象期間 平成23年7月～9月
 比較対象期間 前年同期 平成22年7月～9月
 前期 平成23年4月～6月
 来期 平成23年10月～12月

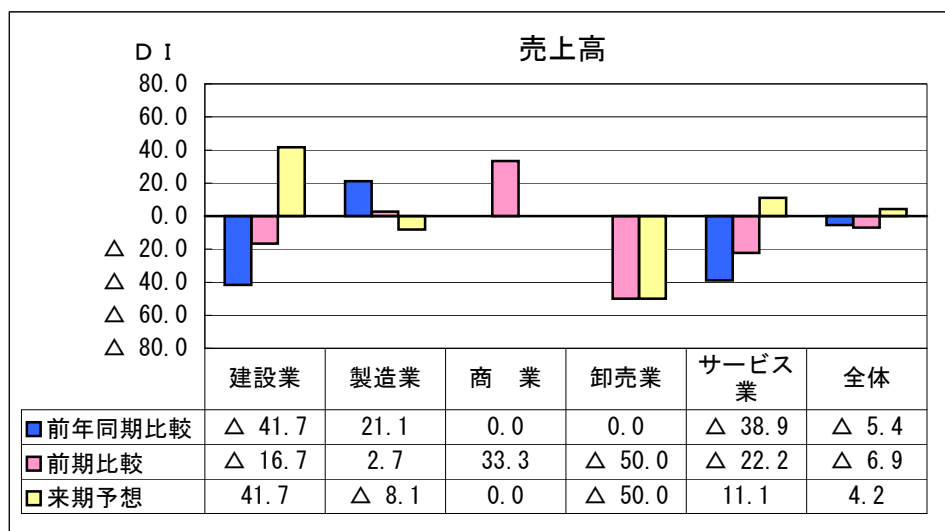
回答企業の業種別内訳



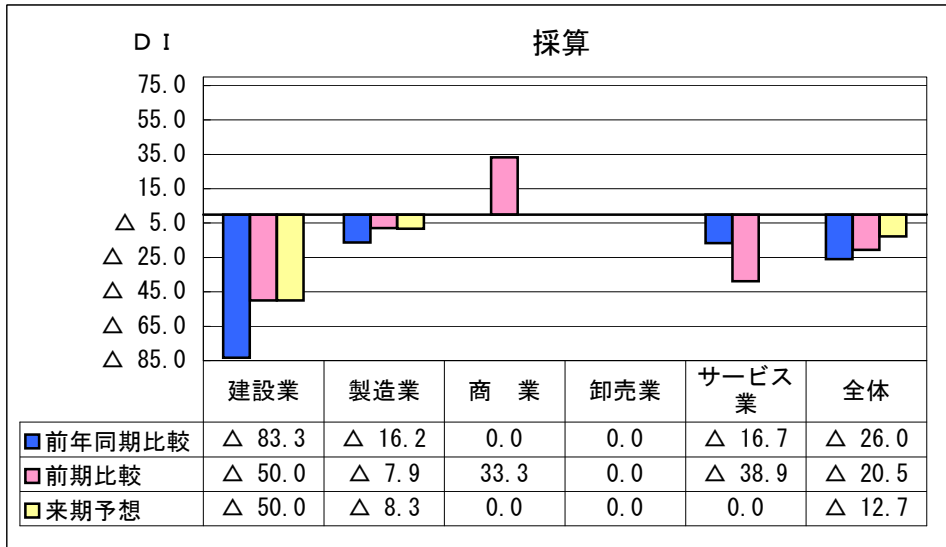
回答企業の従業員数別内訳



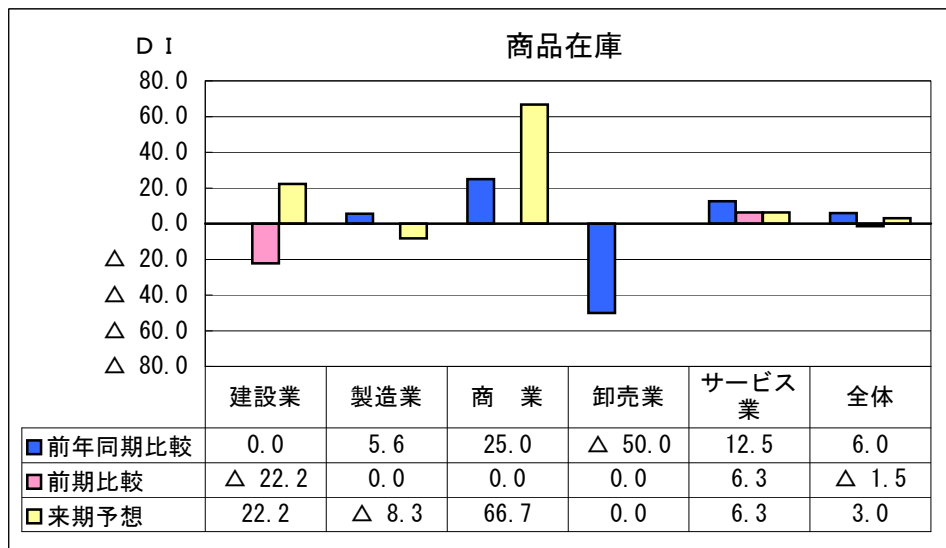
1. 売上高について



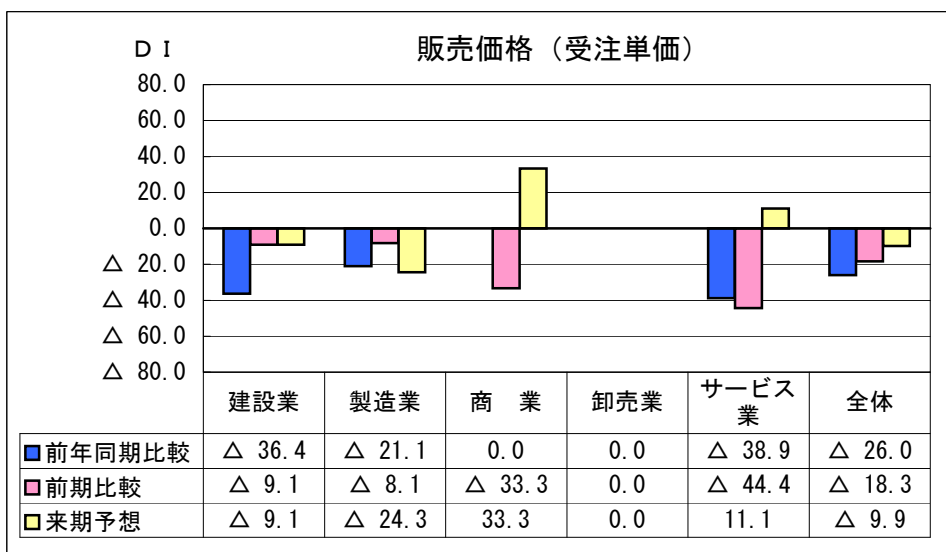
2. 採算について



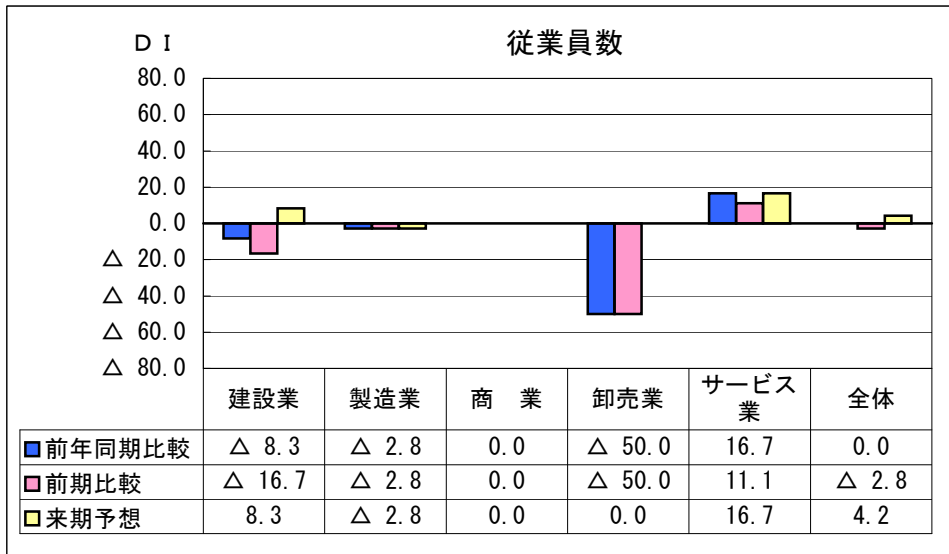
3. 商品在庫について



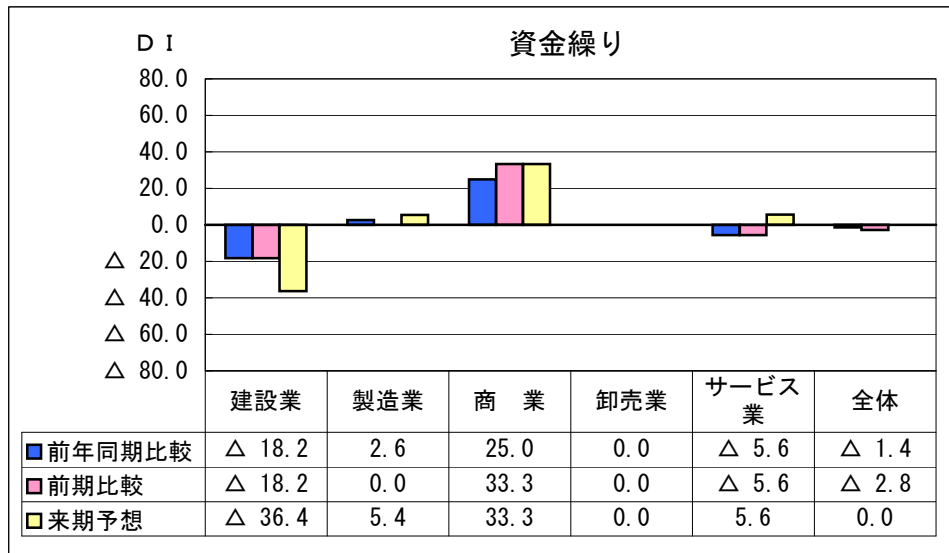
4. 販売価格（受注単価）について



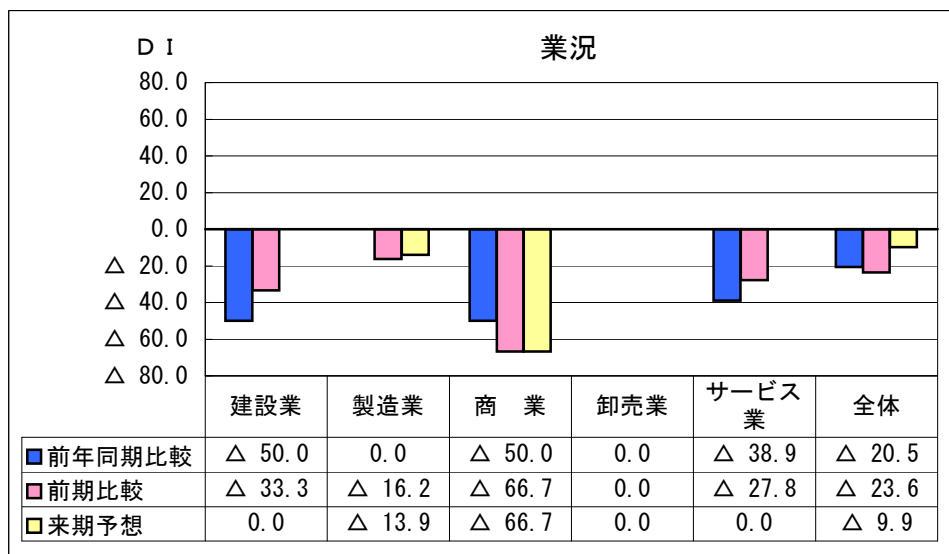
5. 従業員数について



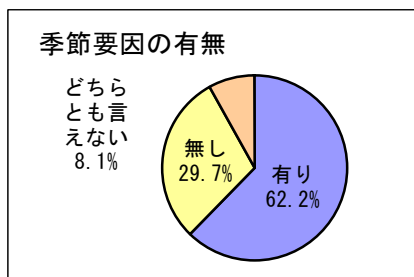
6. 資金繰りについて



7. 業況について



1～7の項目について季節要因による変動はありますか。



8. 以下は、頂いたコメントの一部を紹介しています。

建設

- ・平成23年度は、前年より指名件数が少なく受注も減っています。同業者も同じ様な状態です。台風12号・15号による災害があり、災害の仕事にありつけた状態です。
- ・引き合いは増加しているが、受注単価は下降気味。先行不透明。
- ・公共工事・民間工事の発注物件の減少。

製造

- ・原料樹脂の値上り分を商品に転嫁できていない状況が継続している。
- ・円高問題、中国の建機事情と中国経済の鈍化。
- ・工場なので資金繰りについては不明。しかし、必要と思われる設備、建物、土地の購入は出来ています。今は、人、物、金、全てを集中投下して生産増に対応しています。
- ・若干上向きかけていた業況が、今年7月後半より急激に落ち込み、秋になって得意先の中に倒産企業も出る等、現時点で明るい見通しは立っておりません。
- ・困っていることは、売上高が減っても従業員は最盛期のままの人数なので、解雇も出来ない。定年を過ぎた者は辞められたら困る部署なので来てもらいたい。辞めてもらいたいと思っている者は辞めない。でも、一番は後継者がいないということです。皆さんどうなっているのでしょうか。
- ・円高によるコストダウン要求が日増しに強くなってきました。原材料の高止まりとコストダウンに苦慮しています。
- ・業界においては、海外への親企業の発注移行による国内発注への減少傾向による対策等
- ・福島原発関連の放射能に対する今後の影響が不透明で、手さぐり状態。特に主食米が思うように購入できない。
- ・飼料価格の高騰。
- ・今、当面は売上高増加のため受注も変化なく順調である。しかし、ヨーロッパのレートユーロの動向により、世界経済に変化がおきないか心配です。

商業

- ・大企業は好業績の様だが、雲の上の事。我々は絶えず危機感を持って、耐えながら頑張るだけ。

卸売

- ・円高で注文の納期が遅らされた。

サービス

- ・祝日が多くある月は波があり、忙しい日と暇な日が極端に差がある。いつにもなく今年の7月～9月は、動きが減少していた様に思う。
- ・単価の下落
- ・売上の減少。